

5

(日晴) 67年10月20日 午後10時～1時半.

(場所)

(出展前)

信者1名(女性, 民国加盟)

「祐天寺」住職

（原省）義第課長 小林補任 吉田

午後10時～12時

(右文) から
を説得したが、以下の主張が平行線)

祐天寺刻。

。祐天寺としても信者2000人に働きかけても厚生省が真面目に
対応するよう働きかけた。また監獄もない。

この問題は北との交渉より政治問題にかゝるので、
産牛省がやるにしても信用でない。

(皇女省は別室で待つ間 女性信書1名に事情あり)

「儲」今日大阪の役員 信直 10人ほどが集まった。

・25日3時に、理事懇話会を開催。大阪を代表して名倉、京都、神戸の
各役員(名倉、西村)がまず、再度協議の要に与つた。その後、學生より

五 生 省

罪の證明は「信者」も納得好むと思ふ。

2、午前12時～1時45分

業務一部課

省 立 厚

(業第一部長)・私では役不足といふならば、後援局に、25日に

行つてもよろして、政府としての誠意あると、お世にせよ

と、お願ひ。

それでは、いゝか。

(業第一部長)

() そのお礼持ちは、大変ありがたい、寺の役員や、

25日は、お決めた。

(3)